

令和7年 11月3日(月・祝) 《午前》 「リーダーシップ④」

今回のリーダーシップ研修のテーマは「課題解決演習」です。海外から日本の大学や大学院で学んでいる留学生12名を招いて、研修生6名からなるグループに一人ずつ加わってもらい、グループディスカッションを実施しました。来日して日本で暮らしている留学生の皆さんから、これまでの人生の物語を聞かせていただき、現在どのようなことに興味があり、どのような問題意識を持っているのかについて話を聞きました。

その内容を踏まえ、より良い未来を築くためにグループごとに取り組むべき課題を設定し、問題解決のためにどのようなアクションを起こせば良いのかをまとめました。研修のまとめとして、各グループが自分たちの検討結果をまとめて全体発表しました。

留学生の皆さんは、帰国すれば各専門分野のリーダーとして自国の発展に貢献するという使命感を強くもっています。そのような高い志に触れることで、研修生は現在世界が抱える課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて行動を起こすリーダーとしての自覚を一層深めることができました。



<研修前にリーダーシップ研修の目的を全員に伝える研修生代表>

令和7年 11月3日(月・祝) 《午後》 「リーダーシップ④」

日本の伝統・文化について学ぶ研修を港区の機械振興会館にて行いました。この研修は、日本の伝統・文化とその価値に対する理解を深め、国際社会で日本に生きる者としての自覚と誇りをもつきっかけとすることが目的です。他国の文化を理解するためには、まず自国の文化の理解が欠かせません。また、留学先で日本の伝統・文化を紹介し、交流を深めることができるようになることも研修の大きな目的です。

まず、NPO 日本文化体験交流塾副理事長の山口和加子氏から、茶道、華道、書道などの日本文化を通して、日本人が大切にしてきた、ものの「見方」「考え方」「感じ方」「美意識」について講義を受けました。研修生が留学先で日本文化の一端を紹介できるように、講演はすべて英語で行われました。

次に、「茶道」「華道」「浴衣の着付け」の体験学習を行いました。これらの体験も、研修生が留学先で日本の伝統・文化について説明する際の手掛かりになるように、全て英語で行われました。

この研修を通して、研修生が自国の伝統・文化について、さらに知ろう、学ぼうという気持ちが一層高まるきっかけとなることを期待します。



<華道を体験した研修生>